

バックオフィスに 重点を置いた Web 画面

概要

*GeneXus*TM

シンクライアント
+
サーバー上の
ビジネスロジック

バックオフィス重視の
Web アプリケーション

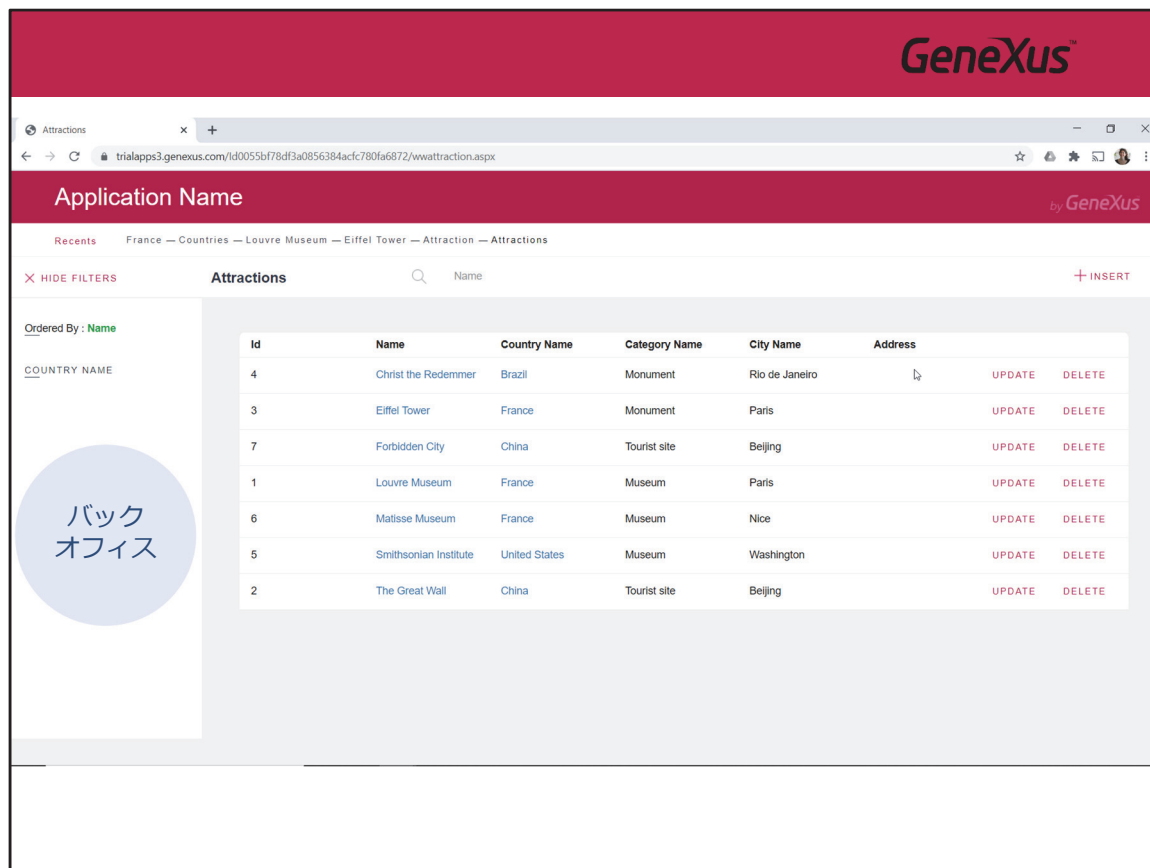
スマート
クライアント
+
サーバー上の
サービス

UX 重視の
Web アプリケーション

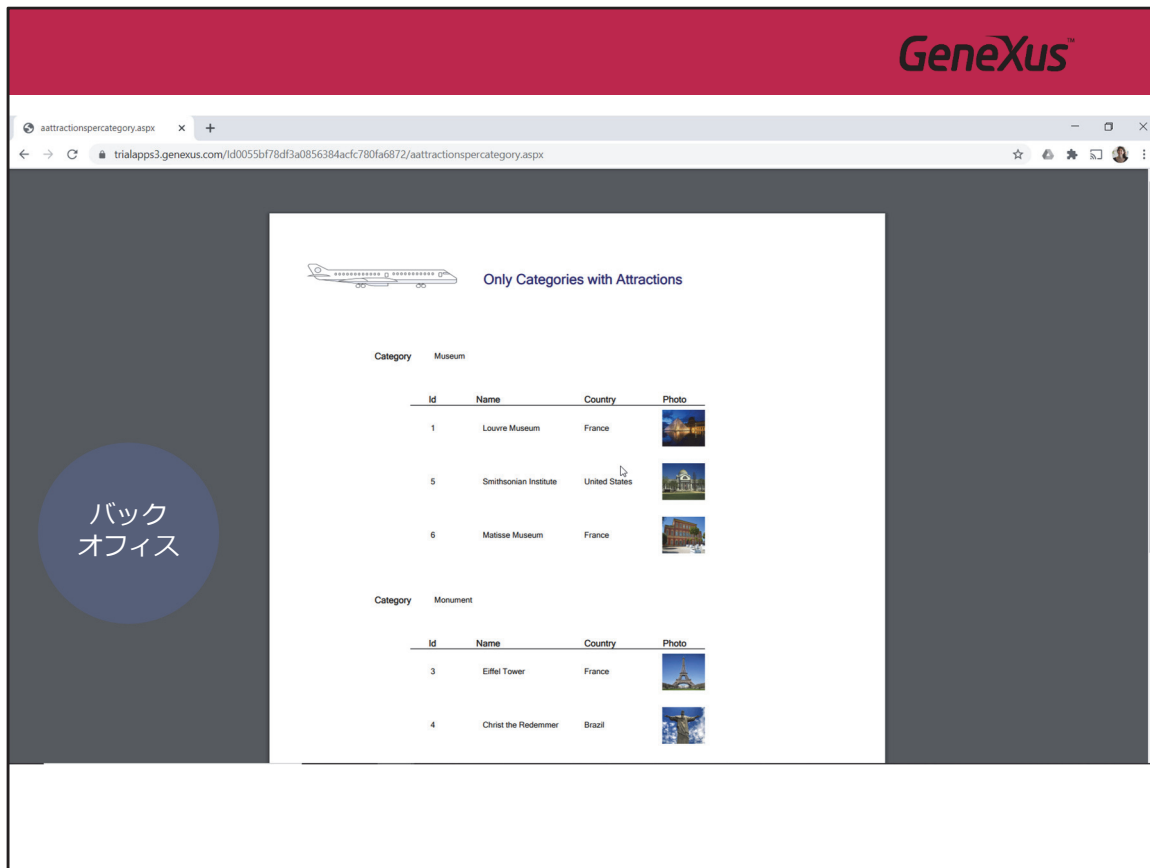
ネイティブ モバイル
アプリケーション

これまで、アプリケーションのアーキテクチャ条件について、特にプログラミング方法について説明しました。

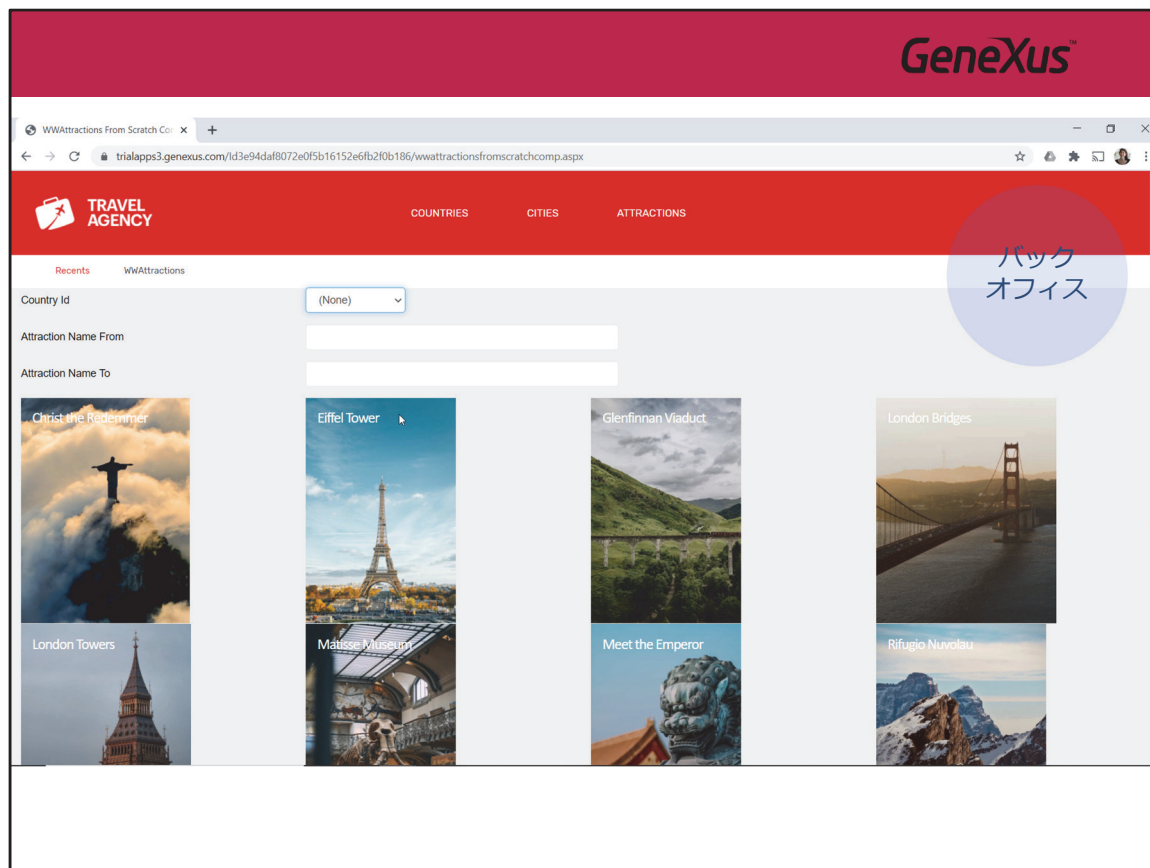
この章では、シンクライアントで実行される Web アプリケーションについて説明します。



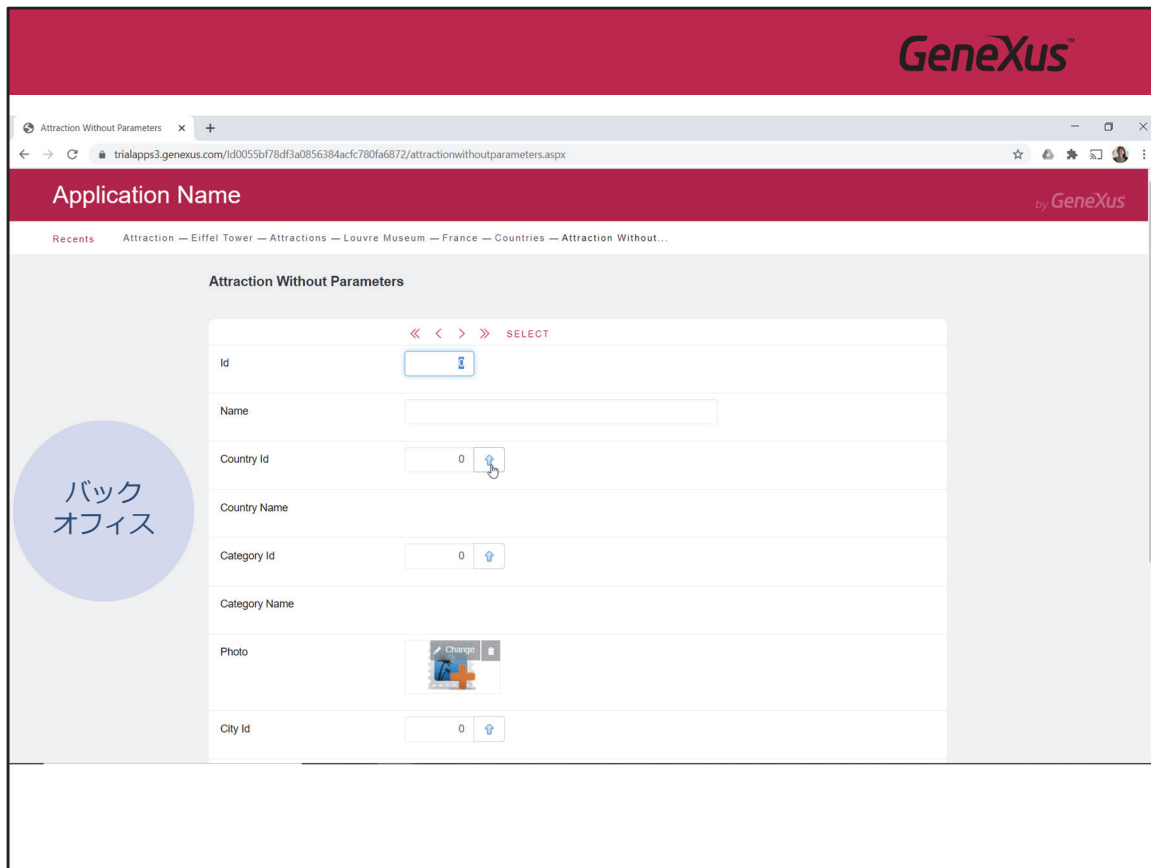
ここまで、主に旅行会社のバックオフィス Web アプリケーションを作成してきました。つまり、階層ビューに従ってデータを参照する社員向けのアプリケーションです。たとえば、Work With パターンによって生成された画面でデータを操作し、トランザクションによって追加 (挿入)、削除、変更を実行できるものです。



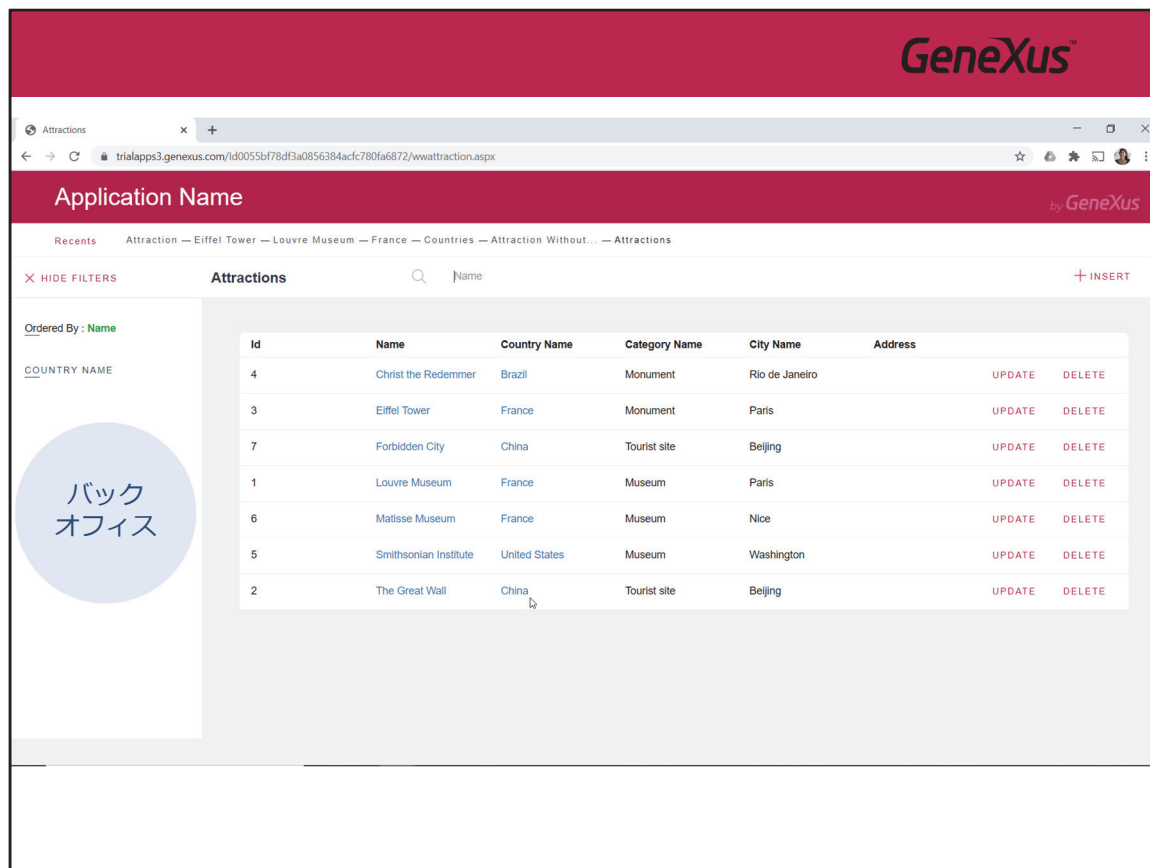
また、ユーザーは、意思決定を行うために、PDF リスト、ワークフロー、フィルタ
 つきの問い合わせを実行したり、さまざまな方法でグループ化された情報表示を必
 要とします。これらをユーザー権限のチェックを含めて行うには、まずユーザーが
 ログインする必要があります。



これから開始するコースの最後に、学習してきた内容がどのように統合され、視覚的に優れたバックオフィスアプリケーションとなるかを確認できます。このバックオフィスアプリケーションは、高速なナビゲーションと直観的に理解できる画面により、ユーザーにスムーズなエクスペリエンスを提供します。

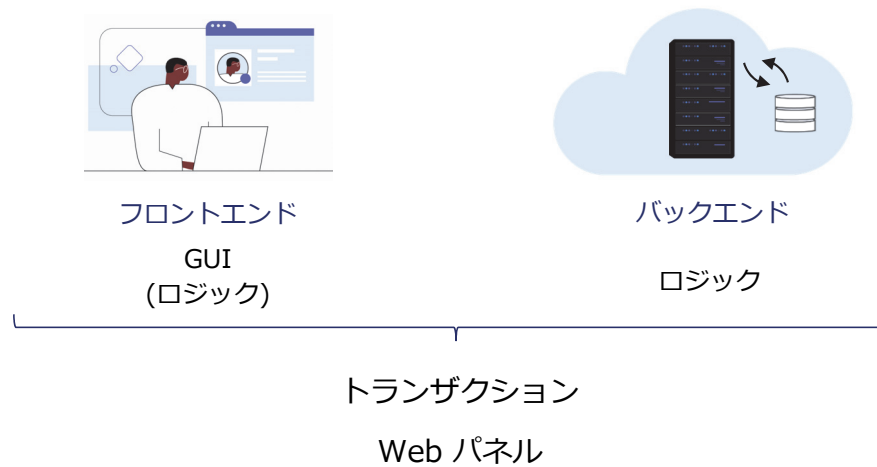


ここまでに、2 つのタイプの画面を操作しました。1 つは、データベース内のデータを操作できるトランザクションオブジェクトの画面です。



もう 1 つは、Work With パターンで生成されるオブジェクトの画面です。この画面では、情報を表示し、表示された内容に基づいて問い合わせやユーザーアクションを実行します。


このパターンで生成される一覧画面 (Selection) と参照用の詳細画面 (View) は、次に学習する Web Panel オブジェクトに対応します。



ユーザーが操作する画面には、(トランザクションでも Web パネルでも) ブラウザーに表示され、アプリケーションのフロントエンドに属する、視覚的な部分があります。また、クライアントよりもサーバー (バックエンド) の方により多く属する、ロジックの部分があります。特に、データの取得と操作に関連するものや、負荷がかかる処理に関連するものです。

フロントエンドとバックエンドはこのような区別がありますが、GeneXus のオブジェクトでは、これら両方のすべてを、開発者に透過的な方法でプログラミングできます。そのため、開発者は、開発するアプリケーションの種類を選択した後は、そのことを考慮する必要はありません。

ここでは、これについて理解します。まず、ロジックに重点を置き、Web Panel オブジェクトについて学習してから、デザインシステムと関連する UI と UX について学習します。



バック
オフィス

このセクションでは、現時点では完全に分断化されているバックオフィス (会社のスタッフのみ利用し、顧客が使わないアプリケーション) に重点を置きます。

開発者メニューのホームページには、GeneXus で作成したインターフェースを持つ、すべてのオブジェクトがメニューとして表示されています。これらのオブジェクトはパラメーターを受け取らないため、直接呼び出すことができます。バックオフィスアプリケーションを作成するには、この開発者メニューにメインオブジェクトである Home と、すべてのデザインおよびロジックを実装する必要があります。

このコースでは、その概要のみを説明します。それでは始めましょう。



動画	https://www.genexus.com/community-and-support-jp/training?ja
ドキュメント	http://wiki.genexus.jp/
認定資格	training.genexus.com/certifications